



3月 例会 ご案内
第55回 総 会
〈 2025(令和7)年3月16日(日) 〉



第55回総会を開きます。会員の皆様の参加をお願いします。
インフルエンザの流行も報じられています。安全のためマスク着用をお勧めします。

◆ **場 所** 平群町総合文化センター（くまがしホール）

令和7年度の総会を、総合文化センター1階の大ホール（くまがしホール）で開催します。

総会後は控え室（中会義室1）や屋外のベンチなどで各自食事をとり、午後は葛本隆将 学芸員による下記講演を受講します。

演 題 「中世都市奈良の山寺」
—地獄谷シユギヨウについて—

◆ **日 程**

- ・会 場 準 備（役員用机・椅子配置等） 9：15 ～ 9：30
- ・受 付 ・ 集 金（会 費） 9：30 ～10：00
- ・総 会 10：00 ～11：40
- ・昼 食（弁当など各自用意） 11：40 ～13：00
- ・講 演 13：00 ～14：30
- ・集合写真撮影・会場後片付け 14：30 ～15：00頃

★雨天の場合でも総会・講演は実施します。

※1.総会当日に議案書・会員名簿・鳥兔103号を地区幹事（幹事不在の方は個人）に配布します。

※2.総会委任状をこの会報に同封しています。

ご都合が悪く総会欠席の方は委任者名を自署の上、3月7日（金）までに河本宛に投函願います（7日消印有効）

※3.総会終了後、集合写真を撮ります。時間がある方はお残りください。

地区の幹事様へおねがい

日頃より、史蹟を守る会の幹事として各地区の会員の方々との連絡調整にあたって頂きありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

本年も総会の日時が近づいてまいりました。年度末にあたってご苦勞をおかけしますが下記の事項についてよろしくお願い致します。

I. 2025(令和7)年度(令和7年3月～令和8年2月)3,000円の集金について

- ・本会報と共にお届けする「領収書」の右端を切り離して、集金時に会員さんにお渡し下さい。
- ・会費は、3月16日の総会当日に、受付横の会計係までまとめてお渡し下さい。

※ 休(退)会を申し出ている方の領収証はありません。

II. 2025(令和7)年度の名簿作成について

現在、令和7年度の会員名簿を編集中です。

下記の事項について、未連絡の地区は3月7日(金)までに河本までご連絡下さい。

- ① 2025年度の地区幹事様を決めてご連絡下さい。(未連絡の所)
- ② 新会員・休(退)会者が、分かっているらばご連絡下さい。
- ③ 会員の住所変更などがあればご連絡下さい。

連絡先 河本雄治 携帯 080-6112-3406 E-mail candynogg@kcn.jp

会員の皆様へおねがい

I. 総会準備作業の応援のお願い

総会資料(議案書・会員名簿)の印刷、製本、仕分けを次の通り実施します。

- ・3月11日(火) 午前9:15～午後5時

(都合の良い時間帯においで下さい)

作業場所：総合文化センター2F・小会議室(大ホールの後部に付属)

II. 総会当日の会場設営作業応援のお願い

今回は平群町総合文化センター1階の大ホールで総会を実施します。総会当日[3月16日(日)]9:15から椅子配置、名札貼付、音響装置配置など総会会場準備をします。

以上、ご都合のつく会員の皆様のお手伝いをお願いします。

2025（令和7）年2月例会《2月9日（日）》報告

～大阪市北西方面の文化財をめぐり～

担当/福嶋：河本

厳しい寒波の終わりなのか、こころなし日差しに暖かさが感じられる。地下鉄を乗り継ぎ起点の南森町駅に集合。このところの寒さのせい参加者は少ない。



出発式を終えた後、アーケード商店街としては長さ日本一の「天神橋商店街」を通って大阪天満宮に着き正門脇で説明があった。孝徳天皇の「難波長柄豊崎宮」造営の頃、都の西北を守る神として「大將軍社」をこの地に祀られた。



天神橋商店街入口

正門の天井部に取り付けられた十二支方位盤には通常鶏がある位置に鳳凰が配されているが、その理由について、道真が太宰府に向かう際、立寄った道明寺での伯母との別れに「鳴けばこそ 別れをいそげ鶏の音の 聞こえの里の 暁もかな」と詠み、別れの出立を促された道真への配慮からと伝わっている。その後、境内の松尾芭蕉の句碑などを見学して次の大阪中央公会堂に向かった。



大阪天満宮



十二支方位盤



大阪中央公会堂

公会堂では時間が押していることでもあり北浜の株式仲買人岩本栄之助の寄付で建てられたこと、そばに架かる中之島にあった蔵屋敷に行き来する柵の木橋を説明して昼食場所の適塾跡に着き、昼食タイムに入った。



適塾

午後は適塾の説明から入った。

適塾は、幕末の優れた医師であり洋学研究の第一人者緒方洪庵によって開かれ、蘭学塾では福沢諭吉など多くの人学んだとの説明の後、適塾の建物に入りかけて塾生が凄まじく学んだ部屋などを見学した。



緒方洪庵像

適塾跡見学後に次の見学先の日本の薬祖神の少彦名命と中国の医薬の神様神農氏を祀る神農さんに寄り、次の見学先の御

霊神社に進んだ。

その後は 多くは大阪城下町造営で「古くはアシの茂る円形の入江で円江(つづらえ)と呼ばれる地に移された社寺の御霊神社 → 北御堂(西本願寺津村別院) → 坐摩^{いかすり}神社・陶器神社 → 南御堂(東本願寺難波別院) → 難波神社と進み、松尾芭蕉終焉の地は時間の関係で自由見学になり、例会を終えた。

[例会参加者 17(内当日会員 1)名]



御霊神社



坐摩神社



難波神社



松尾芭蕉終焉の地

4月 例会予告 企画部

◆◆伏見の町を歩く◆◆

日時：4月13日

豊臣秀吉の伏見城築城で歴史の中心になり、明治天皇の桃山御陵が鎮座する伏見、美酒の香り漂う伏見の町を歩きます。

皆様の参加をお待ちします。

みんなのひろば



青春18 残念(?)ものがたり

冬の味覚と言えば、カニ、寒ブリ、牡蠣などいろいろあるが、ここ数年、1月には「牡蠣ツアー」に出かけることが恒例となっている。



赤穂の手前まで行くので交通費(JR)が往復で5200円ほどかかる。牡蠣をたらふく食べたいツアーの面々は交通費を極力抑えるために知恵を巡らせて「青春18切符」の利用を考えついた。5人そろえば往復2410円で行ける勘定だ。お得!! ところが…である。

昨年12月に「青春18切符」のルールが突然変更された。3日間有効分と5日間有効のものとの2種類になり①継続して使用すること ②一人ですべて使い切ることとなったのだ。当然のことながら我が「牡蠣ツアー」にはもう使えない。「青春18切符2024冬」は出番がないまま終わってしまった。

交通費の差額はさほど大きな金額ではないじゃないかと思われるかもしれない。確かにそうだが、長年のささやかな楽しみが突如奪われるというのは、なんとも悔しいし、寂しいし、腹立たしい。昨今、高齢者の「フレイル予防」だの「引きこもり防止」などと言っているではないか。それなら18切符を元に戻して、「元気で長生き」を応援してくれないか、JRさん。
(上庄 繁田 智子)

原稿募集!!

編集部では会員の皆さんから「みんなのひろば」への投稿を募集しています。

日常生活の中での身近な話題などをぜひお寄せください。

平群史蹟を守る会